



片岡理事(右)から目録を受け取る古川課長

災害用伝言の周知を

日本公衆
電話会青森 県に冊子を寄贈

公衆電話設備店舗で組織する日本公衆電話会青森支部は27日、大規模災害時に安否確認できる「1771災害用伝言ダイヤル」の周知を図ろうと、啓発用ティッシュと冊子各1000部を県に寄贈した。

り、これまでに啓発用ティッシュ2万7100個、冊子1万4865部を県内で配布している。

県への寄贈は今回で3回目。この日は同支部の片岡俊一理事と荒屋敷武則事務局長が県庁を訪れ、情報システム課の古川明弘課長に啓発用ティッシュと冊子の目録を手渡した。

県では今後、情報通信技術を活用した各種イベントを行うとしており、古川課長は「わが国ではいつどこで災害が起こるか分からない。(冊子などは)イベントなどで配布するなど、さまざまな場面で活用したい」と話した。

(石岡大知)

※この画像は当該ページに限って陸奥新報社が利用を許諾したものです。
[問合せ先]弘前大学理工学研究科
E-mail:r_koho@hirosaki-u.ac.jp